

# 施策評価シート

施策コード	2102	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	生涯学習の推進	所属名 教育委員会事務局 生涯学習課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる

## 2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○社会の成熟化により、「心の豊かさやゆとりある生活」が重視され、「いつでも どこでも だれでも だれとでも 何でも いつまでも」学習できる環境づくりが求められています。</p> <p>○学習で得た知識・技能などの成果を活かした活動や交流は、地域への愛着や生きがいのある充実した暮らしにつながります。</p> <p>○鳥取市生涯学習センターで開催されている尚徳大学、鳥取市民大学をはじめ各地区公民館や市立図書館などにおいて生涯学習活動が行われています。</p> <p>○生涯学習活動の充実を図るため、放送大学や鳥取大学、鳥取環境大学等と連携し、社会人を対象とした各種講座の充実と受講の促進に取組むとともに、鳥取県立図書館をはじめ県内の各図書館と連携し、読書環境の充実に取組んでいます。</p> <p>○今後も多様化、高度化する市民の生涯学習ニーズに対応した学習機会の提供、学習成果を活かした地域活動と市民交流の促進が必要です。</p>
めざす方向	市民が自発的に、生涯にわたって自由に学習機会を選択して学び、学習の成果を活かすことで、自己実現のできる社会をめざします。
達成するための対策・手段	<p>①地域で活躍する人材の育成・支援</p> <p>②生涯学習・成果を活かす機会の充実</p> <p>③生涯学習活動拠点施設の充実</p> <p>④読書活動の推進</p>

## 3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
成果指標	1 ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	回	目標	110	125	140	140	140	
			実績	153	113	120	0	0	
			目標達成率	139%	90%	86%			
	(指標の説明) 生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」における、ボランティア活動や地域の年中行事実施回数。平成25年度までに全61館で現在より1回以上の増加をめざす。(基準値は平成21年度)								
	2 尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数	人	目標	7050	7400	7750	8100	8500	
			実績	6852	6938	7491	0	0	
			目標達成率	97%	94%	97%			
	(指標の説明) 毎年度、前年度比5%の参加者の増加をめざす。(基準値は平成21年度)								
	3 市民1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	目標	4.5	4.6	4.7	4.8	5.1	
実績			4.617	4.484	4.667	0	0		
目標達成率			103%	97%	99%				
(指標の説明) 年間総図書貸出数/人口。平成27年度の総図書貸出冊数1,000,000冊をめざす。(基準値は平成21年度)									

## 4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	405,523	379,037	397,130	0	0

## 5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	高齢者を対象とした生涯学習である尚徳大学及び一般市民を対象とした市民大学の乗降者数は増加している。今後は、受講生のニーズを把握しながら、受講生の満足度を高めていくことを目指したい。 一方、図書館は新システムの運用により、資料管理、利用者管理、貸出管理等が一元的に行え、中央図書館を中心とした、地域図書館や学校図書室のネットワークが確立しました。これにより、利用者に利便性の高いサービスが提供でき、利用が増大しています。
---------------------------------------	--

## 6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	超高齢社会を迎え、生涯学習の役割が重要性を増すものと考えます。また、単に生きがいづくりだけの生涯学習にとどまらず、学習の成果を活かす仕組みも重要と考えます。 図書館については、図書館同士の連携を活かし、市民の読書環境の充実を図るとともに、引き続き、様々なテーマで学習の機会が提供できるよう各種講座を積極的に開催します。また、図書に加え電子情報の利用も考慮しながら、時代のニーズをとらえ、資料の整備を図ります。

## 7. 市民アンケートに対する方向性

市民アンケートに対する方向性	【重要度：24位、満足度：16位、ニーズ度：24位】 ●満足度は平均値より上回ったため、ニーズ度が低い結果となった。これは、現在の取り組みに対する一定の評価と思われる。このため、現状の取り組みを継続していく必要がある。
----------------	--

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000861	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	地区公民館整備事業(新築)		所属名	企画推進部 協働推進課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
	施策	2101	協働まちづくりの推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	まちづくり協議会への事業支援		55地区	61地区	運営方法	直営
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		172団体	200団体	会計区分	一般会計
	地域活動に参加したことがある市民の割合		0%	0%		
予算	予算事業名	地区公民館新築事業費			予算事業コード	01-09-04-16-11-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地区公民館
意図 (どのような状態にするために)	施設設備の老朽化や地区公民館を取り巻く地域社会の変化に対応するため、生涯学習と地域コミュニティの活動拠点としての整備を図る。
手段 (どうするのか)	木造平屋建てを基本とした建設事業

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取市立国英地区公民館の新築 ■構造:木造平屋建て ■延床面積:450㎡	平成24年度 鳥取市立国英地区公民館の外構等整備 ■旧公民館の解体 ■擁壁工(ブロック積 A=188㎡)ほか	平成25年度 鳥取市立湖山地区公民館の新築に係る用地取得、設計業務	平成26年度 鳥取市立湖山地区公民館の新築 ■構造:木造平屋建て ■延床面積:450㎡  鳥取市立神戸地区公民館の新築に係る設計業務、旧神戸児童館解体	平成27年度 鳥取市立神戸地区公民館の新築 ■構造:木造平屋建て ■延床面積:300㎡程度	
	年度別実績	鳥取市立国英地区公民館の新築 ■構造:木造平屋建て ■延床面積:480㎡	鳥取市立国英地区公民館の外構等整備 ■旧公民館の解体 ■擁壁工(ブロック積 A=188㎡)ほか	鳥取市立湖山地区公民館の新築に係る用地取得、設計業務			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	356,505	45,098	42,859	0	0	
	直接経費 A	352,756	41,385	39,216	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	154,909	0	0	0	0
		地方債	186,400	0	37,000	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	11,447	41,385	2,216	0	0
人件費 B	3,749	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	地区公民館新築事業	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			館	目標	1	1	1	1	0	
			実績	1	1	1	0	0		
	(指標の説明) 新築事業について地元合意等が得られた館数									
	2			目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地区公民館係 0857-20-3172</p> <p>【9次総合の施策体系】 2101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P 5 1 (企 0 3 6)</p> <p>【事業の概要】 湖山地区公民館(鉄骨造2階建、延床面積451㎡)は、昭和50年3月建築で老朽化が進んでいる。また、地区の端に位置し、トイレは男女共用であり、1階に会議室がない状況である。このため多くの地区住民が集う生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として建て替えが急務となっている。地区公民館を移転新築することにより、現状の課題を解消し生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として充実を図ることができる。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度は湖山地区公民館の移転先用地取得と新築に係る設計業務を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度は公民館の建築、駐車場の整備工事及び備品購入を行う。あわせて年次計画により、引き続き地区公民館の整備を進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地区公民館新築事業	100%	100%	100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地区公民館は生涯学習および地域コミュニティの拠点施設であるため、妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生涯学習および地域コミュニティの拠点施設として、地区公民館の整備は必要不可欠である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	年次計画により、効率的に各地区公民館の整備を進めているため。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域のニーズを汲み取り、年次計画により地区公民館の整備を進めているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	引き続き、年次計画により地区公民館の整備を進めていく。		
担当課長の評価コメント			

# 事務事業評価シート

事務事業コード	002709	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	地区公民館整備事業(耐震補強)		所属名	企画推進部 協働推進課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成25年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	2101	協働まちづくりの推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	まちづくり協議会への事業支援		55地区	61地区	運営方法	直営
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		172団体	200団体	会計区分	一般会計
地域活動に参加したことがある市民の割合			0%	0%		
予算	予算事業名	地区公民館耐震補強事業費(経済対策)			予算事業コード	01-09-04-06-26-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地区公民館
意図 (どのような状態にするために)	地区公民館の耐震化を推進することで、生涯学習と地域コミュニティの活動拠点としての整備を図る。
手段 (どうするのか)	耐震補強事業

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画			地区公民館の耐震補強計画策定、実施設計(大和・大茅・社・米里・賀露)	・地区公民館の耐震補強工事(大和・大茅・社) ・地区公民館の耐震補強計画策定、実施設計(千代水・中郷)	・地区公民館の耐震補強工事(米里・賀露・千代水・中郷) ・地区公民館の耐震補強計画策定、実施設計	
	年度別実績			地区公民館の耐震補強計画策定、実施設計(大和・大茅・社・米里・賀露)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	25,521	0	402,593	
	直接経費 A	0	0	22,607	0	402,593	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	5,477	0	76,940
		地方債	0	0	11,200	0	308,900
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	5,930	0	16,753
人件費 B	0	0	2,914	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	耐震補強事業を実施する館数	館	目標	0	0	5	5	8	
				実績	0	0	5	0	0	
	(指標の説明) 耐震補強事業を実施する館数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	地区公民館係 0857-20-3172
	【9次総の施策体系】	2101
	【予算計上の経過】	平成24年度2月補正予算(平成25年度へ繰越)
	【事業の概要】	災害時に市民の生命を守ることは行政の責務であり、公共施設の耐震化が急がれることから、旧耐震基準による地区公民館に対する耐震診断調査結果に基づき、年次的に耐震補強事業を実施する。
	【事業の成果】	平成25年度は、大和・大茅・社・米里・賀露地区公民館の耐震補強計画策定及び実施設計を行った。
	【今後の課題・方向性】	平成26年度は大和・大茅・社地区公民館の耐震補強工事を行うなど、年次的に地区公民館の耐震化を推進する。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	耐震補強事業を実施する館数			100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地区公民館は生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設であり、安心して利用していただくため、耐震補強工事は必要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	耐震補強工事により、地区公民館を生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として、安心して利用していただくことができる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	年次計画により、新耐震基準を満たすよう地区公民館の耐震化を推進しているため。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	年次計画により、順次耐震補強工事を進めているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	安心して地区公民館を利用していただくため、年次的に地区公民館の耐震化を推進します。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000794	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	集会所整備支援事業		所属名	企画推進部 協働推進課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市町内会集会所新築等補助金交付規則
施策	2101	協働まちづくりの推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	まちづくり協議会への事業支援		55地区	61地区	運営方法	補助金交付
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		172団体	200団体	会計区分	一般会計
	地域活動に参加したことがある市民の割合		0%	0%		
予算	予算事業名	町内集会所建設等補助金			予算事業コード	01-02-01-11-10-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	町内会集会所
意図 (どのような状態にするために)	町内会の会合やイベントに利用する集会所を整備することにより、地域コミュニティの醸成を図り、地域の活性化を促進する
手段 (どうするのか)	町内会が実施する集会所の整備等に対し補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 補助金交付にあたり、制度の広報、申請の受付、審査の実施	平成24年度 補助金交付にあたり、制度の広報、申請の受付、審査の実施	平成25年度 補助金交付にあたり、制度の広報、申請の受付、審査の実施	平成26年度 補助金交付にあたり、制度の広報、申請の受付、審査の実施	平成27年度 補助金交付にあたり、制度の広報、申請の受付、審査の実施	
	年度別実績	22集会所 改築等 20件 賃借 2件	17集会所 改築等 15件 賃借 2件	18集会所 改築等 16件 賃借 2件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,849	20,195	19,509	0	20,000	
	直接経費 A	7,350	18,710	18,052	0	20,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,350	18,710	18,052	0	20,000	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	集会所新築等補助件数	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			件	目標	14	15	16	17	17
			実績	22	17	18	0	0	
		(指標の説明) 本補助金を利用して町内会集会所の整備等を実施する件数							
2			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】	コミュニティ支援 0857-20-3171
	【9次総の施策体系】	2101
	【予算計上の経過】	当初予算・P50(企033)
	【事業の概要】	集会所(町内会の集会所)については、自治会が自主的に建設(取得)している。本事業はコミュニティ活動の基盤となる集会所建設を支援するため、平成3年度から実施している。集会所の建築・改修等及び賃借料に対して、対象経費の1/3、上限1000万円の補助金を交付するものである。
	【事業の成果】	町内会のコミュニティの場である集会所の建設や改修に対して助成することにより、地域コミュニティの醸成を図ることで、地域の活性化を促進する。 さらに平成20年度より集会所施設の賃借料に対しても補助金を交付し、集会所取得が困難な町内会であっても、コミュニティ活動拠点が確保されるよう、市として支援している。
	【今後の課題・方向性】	地域コミュニティの活動拠点を整備し、協働のまちづくりを推進するためにも今後も継続して支援していく必要がある。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	集会所新築等補助件数	157%	113%	113%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域コミュニティの拠点施設である町内会集会所の整備を助成することは、協働のまちづくりを推進する市として妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	町内会のコミュニティの場である集会所の建設や改修に対して助成することは、地域コミュニティの活性化を促進する上で有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地域コミュニティの拠点施設である町内会集会所の整備に対して、実施主体に直接財政支援を行っており効率的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市の全町内会を対象としており、鳥取市報や鳥取市ホームページ等を通し、周知を図っている。交付決定にあたっては、交付要綱に基づき審査しており、公平性は確保されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	コミュニティ活動の基盤となる集会所の確保を支援することは、協働のまちづくりを推進する本市にとって重要な事業である。現在のニーズに合うよう制度を見直し、今後も対象となる経費(50万円以上)や設備等を見直しするなどして、引き続き支援を継続することが適当と考える。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000764	重点事業区分	リープロ3	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	若者コミュニティ活動支援事業(若者会議)		所属名	企画推進部 企画調整課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成18年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市若者会議補助金交付要綱
	施策	2101	協働まちづくりの推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	まちづくり協議会への事業支援		55地区	61地区	運営方法	補助金交付
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		172団体	200団体	会計区分	一般会計
	地域活動に参加したことがある市民の割合		0%	0%		
予算	予算事業名	若者会議事業費		予算事業コード	01-02-01-07-01-15	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態にするために)	若者により協働のまちづくりを進めるとともに、新時代の本市のリーダーとなる人材を輩出する。
手段 (どうするのか)	鳥取市に住む若い方々に、本市の現状を学ぶながら次代のまちづくりを共に考えていただき、それらに対する意見・提言を市政に反映させるとともに、積極的にまちづくりに取り組む実践チームと活動してもらおう。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 若者会議の事務・運営	平成24年度 若者会議の事務・運営	平成25年度 若者会議の事務・運営	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	第3期若者会議の運営	第4期若者会議の運営	第4期若者会議の運営 (モニターツアーの実施、街中職場体験の実施、街中カフェマップの作成) 成果:しゃんしゃん祭りへのブラジル県人会等の参加、砂の美術館関連パンフレットの改善等			
	事業費	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
事業費	区分	事業費(A+B)	629	630	813	0	0
	直接経費 A	629	630	813	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	299	184	371	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	330	446	442	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	会議に参画する若者の数	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
					実績	24	30	30	0	0	
		(指標の説明)			実績	24	22	19	0	0	
	2				目標	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)									
	3				目標	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	
		(指標の説明)									



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 戦略行政・大学係 0857-20-3153</p> <p>【9次総の施策体系】 2101</p> <p>【事業の経過及び背景】 2期ローカルマニフェスト「協働のまちづくりと市民サービスの向上」の中で、若者との協働のまちづくりを目指し、「若者会議」を設置した。少子高齢化や地方分権の進展の中で、自立したにぎわいのある都市として一層の発展を目指すために、次代を担う若者の市政への参画が望まれる。</p> <p>【事業の目的及び効果】 鳥取市に住む若い方々に、本市の現状を学びながら次代のまちづくりを共に考えていただき、それらに対する意見・提言を市政に反映させるとともに、積極的にまちづくり活動に取り組む実践チームとして活動していただき、協働のまちづくりを進めていく。また、併せて新時代の本市のリーダーとなる人材の輩出を目指す。</p> <p>○対象者 若者(原則：18歳以上 30歳まで) ○委員構成 経済界、大学等からの推薦メンバーと公募メンバーで構成 ○任期 2年以内(再任可)</p> <p>【事業の内容・実績】 ○会議の開始時期 第4期 平成24年6月(設立：平成19年1月) ○活動拠点 文化センター内若者交流スペース ○実績 ・グループ会議(月1回程度) ・若者議会の実施(平成26年1月25日) ・最終報告会の実施(平成26年3月15日)</p> <p>【今後の取り組み】 第5期若者会議新体制での活動推進 【用地取得の必要性】 なし 【根拠計画】 第9次総合計画 【条例改正等の必要性】 なし</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	会議に参画する若者の数	100%	73%	63%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	今後のまちづくりの担い手育成のため鳥取市に住む若者の参画意識を醸成することは重要である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	若者の活動を促進し、市政に若者の視点を取り入れることは今後のまちづくりに有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	会議運営及び費用負担は必要最小限であり、効率的である。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	公募によるメンバー募集を基本としており、対象は適切である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	市政への参画意識が低いと言われる若者の市政への参画を促す意味で初期の目的を達しつつある。若者のリーダー養成、活動を促進する一定の役割を果たした時点で、OB等との交流の拡大など、新たな展開を検討する必要がある。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000811	重点事業区分	リープロ3	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	若者コミュニティ活動支援事業(若者定住促進事業)		所属名	企画推進部	企画調整課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市若者定住促進事業補助金交付要綱
	施策	2101	協働まちづくりの推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	まちづくり協議会への事業支援		55地区	61地区	運営方法	補助金交付
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		172団体	200団体	会計区分	一般会計
	地域活動に参加したことがある市民の割合		0%	0%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	若者団体
意図 (どのような状態にするために)	若者を対象としたイベント・情報提供などの実施を促進することで、地域への愛着を持ち、定住する若者世代を増やしていくことを図る。 (若者定住促進事業より再掲)
手段 (どうするのか)	若者が主体的に行う、若者のためのイベント、交流活動、情報発信などの活動への支援を行う。 (若者定住促進事業より再掲)

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 事業採択5事業	平成24年度 事業採択5事業	平成25年度 事業採択5事業	平成26年度 事業採択5事業	平成27年度 事業採択5事業	
	年度別実績	若者定住促進事業 6件	若者定住促進事業 6件	若者定住促進事業 7件			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,497	7,426	7,285	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	7,497	7,426	7,285	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		若者定住促進事業	人	目標	2000	2000	2000	2000	2000	
			実績	2337	4342	6384	0	0		
	(指標の説明) 事業の採択数									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 戦略行政・大学係 0857-20-3153</p> <p>【9次総の施策体系】 1101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P11 (企170)</p> <p>【事業の概要】 ○若者が主体的に行う、若者のためのイベント、交流活動、情報発信などの活動への支援事業</p> <p>【事業の成果】 若者を対象としたイベント・情報提供などの実施を促進することで、地域への愛着を持ち、定住する若者世代を増やしていくことを図った。 平成23年度 2,845千円 (6団体) ※上限100万円 平成24年度 3,000千円 (6団体) ※上限100万円 平成25年度 2,096千円 (7団体) ※上限100万円 ※事業費は、事務事業No.366若者定住促進事業で一括して記載</p> <p>【今後の課題・方向性】 人口減少が始まり、高齢化が進展している中、鳥取市が将来にわたってにぎわいのある都市として発展・継続していくためには、若者が活力を持って活躍するための条件整備が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	若者定住促進事業	117%	217%	319%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域への愛着を持ち、定住する若者世代を増やしていくための支援であり目的が明確である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	若者による若者を対象とした賑わいに寄与している。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	外部委員からなる審査会により補助事業の採択を行っており適正な予算執行を行っている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業に係る適正な受益者負担である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	若者定住を促進する上で若者のコミュニティ活動を推進することは重要な取組である。継続的な事業実施により、参加者の増から定住につなげる。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000763	重点事業区分	リープロ1	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	自治基本条例推進事業		所属名	企画推進部 協働推進課	

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	鳥取市自治基本条例
	施策	2101	協働まちづくりの推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	まちづくり協議会への事業支援		55地区	61地区	運営方法	直営
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		172団体	200団体	会計区分	一般会計
	地域活動に参加したことがある市民の割合		0%	0%		
予算	予算事業名	自治基本条例推進事業		予算事業コード	01-02-01-01-15-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民と市が自治の主体として、それぞれの役割を果たし協力し合いながら協働のまちづくりを推進する。
手段 (どうするのか)	機会を捉えた広報に努め、市民へ協働を周知する。また、自治基本条例や本市の参画と協働のまちづくりの推進について調査・審議する市民自治推進委員会を開催する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 参画と協働のまちづくりフォーラム及び市民自治推進委員会の開催。市内の協働事業をまとめた協働事業事例集の作成。	平成24年度 参画と協働のまちづくりフォーラム及び市民自治推進委員会の開催。	平成25年度 参画と協働のまちづくりフォーラム及び市民自治推進委員会の開催。	平成26年度 参画と協働のまちづくりフォーラム及び市民自治推進委員会の開催。	平成27年度 参画と協働のまちづくりフォーラム及び市民自治推進委員会の開催。	
	年度別実績	参画と協働のまちづくりフォーラム 平成23年11月5日(土)開催 参加者170人 市民自治推進委員会 6回開催 協働事業事例集 23年7月に完成	市民活動フェスタ 平成24年12月2日(日)開催 参加者650人 市民自治推進委員会 12回開催	市民活動フェスタ 平成25年12月7日(土)開催 参加者800人 市民自治推進委員会 7回開催			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,538	8,044	7,725	0	718	
	直接経費 A	1,041	618	440	0	718	
	直接経費の財源内訳	国・県	494	189	140	0	143
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	547	429	300	0	575
人件費 B	7,497	7,426	7,285	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	フォーラム参加人数	人	目標	200	200	200	200	200	
				実績	170	650	800	0	0	
	(指標の説明) 参画と協働のまちづくりフォーラムに参加した人数									
	2	市民自治推進委員会の開催回数	回	目標	6	6	10	6	6	
				実績	6	12	7	0	0	
	(指標の説明) 自治基本条例に基づき設置されている市民自治推進委員会の年間開催回数									
3	市民等との協働の取組事例数	件	目標	0	0	110	110	110		
			実績	0	0	124	0	0		
(指標の説明) 市民等との協働の取組事例数										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>自治基本条例推進費 【問合せ先】 市民活動係 0857-20-3182</p> <p>【9次総の施策体系】 2101</p> <p>【事業の概要】 本市のまちづくりの基本ルールを定めた「鳥取市自治基本条例」について、市民に条例の趣旨を十分ご理解いただくとともに、活用していただく。</p> <p>【事業の成果】 (1) 条例について市民への周知を行うことにより、住民自治の充実が図られます。 (2) 条例の実効性を高めるための「市民自治推進委員会」を設置することにより、参画と協働のまちづくりが推進されます。</p> <p>平成25年度 自治基本条例の一部改正(危機管理条項の追加)</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民自治推進委員会については、継続して開催し、市民の視点から参画と協働のまちづくりの推進に関する事項の調査・審議などを行っていただく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	フォーラム参加人数	85%	325%	400%		
	2	市民自治推進委員会の開催回数	100%	100%	70%		
	3	市民等との協働の取組事例数			113%		

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市のまちづくりの基本ルールである「鳥取市自治基本条例」の市民等への浸透により、「市民が主役の協働によるまちづくり」の推進が図られるため。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民自治推進委員会の開催により「協働のまちづくりの推進」に一定の効果があるが、改善の余地もあると考えられるため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	協働のまちづくりに関する調査・審議など必要な経費で運営している。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民自治推進委員会での審議内容等を公表し、広く市民への情報周知に努めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	市民自治推進委員会については継続して開催し、市民の視点から参画と協働のまちづくりの推進に関する事項の調査・審議などを行っていただく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000839	重点事業区分	リープロ1	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地区公民館事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	社会教育法
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	外部委託
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊			
予算	予算事業名	地区公民館事業費(生涯学習課)		予算事業コード	01-09-04-06-07-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に住む子ども
意図 (どのような状態にするために)	ふるさとを大切に、強い志を持つ子どもに育てる。
手段 (どうするのか)	各地区公民館が取り組む生涯学習事業を通じ、子どもたちのボランティア活動・体験活動の機会を充実、支援することにより、地域で子どもたちを育てる環境整備を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成24年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成25年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成26年度 公民館生涯学習委託事業のなかで、子どものボランティア活動や子どもたちが地域の年中行事を体験する活動を促進	平成27年度 公民館生涯学習委託事業のなかで、子どものボランティア活動や子どもたちが地域の年中行事を体験する活動を促進	
	年度別実績	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 625件 31,748人 新市域 343件 13,792人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 585件 26,530人 新市域 352件 13,874人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 539件 25,706人 新市域 340件 15,340人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	22,630	22,621	23,111	0	22,114	
	直接経費 A	21,131	21,136	21,654	0	22,114	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	21,131	21,136	21,654	0	22,114
人件費 B	1,499	1,485	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	回	目標	110	125	140	170	200
	実績	968	937	879	0	0			
(指標の説明) H25年度目標値に、全地区公民館で1回以上の増加をめざし、実施した回数									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問い合わせ先】生涯学習係 0857-20-3362												
	【9次総の施策体系】2102												
	【予算計上の経過】当初予算												
	【事業の概要】委託先：鳥取市公民館連合会 地区公民館事業 62館(内分館1館)の事業費												
	平成18年度まで5事業としていたが、平成19年度より3事業に統括し実施し、平成25年度より3事業から4事業に分類分けをして事業を実施している。事業費の配分は、基本的に各地区公民館の裁量により設定できることとする。												
	【事業の成果】												
	(1) 子どもと大人のふれあい事業												
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td>968件</td> <td>937件</td> <td>879件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td>45,650人</td> <td>40,404人</td> <td>41,046人</td> </tr> </table>		平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業開催数(延)	968件	937件	879件	参加人数(延)	45,650人	40,404人	41,046人
		平成23年度	平成24年度	平成25年度									
	事業開催数(延)	968件	937件	879件									
参加人数(延)	45,650人	40,404人	41,046人										
(2) 特色ある公民館活動事業													
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td>716件</td> <td>750件</td> <td>496件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td>28,072人</td> <td>29,390人</td> <td>22,606人</td> </tr> </table>		平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業開催数(延)	716件	750件	496件	参加人数(延)	28,072人	29,390人	22,606人	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度										
事業開催数(延)	716件	750件	496件										
参加人数(延)	28,072人	29,390人	22,606人										
(3) 地域の仲間づくり事業													
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td>689件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td>17,390人</td> </tr> </table>		平成25年度	事業開催数(延)	689件	参加人数(延)	17,390人							
	平成25年度												
事業開催数(延)	689件												
参加人数(延)	17,390人												
(4) 人権啓発推進事業													
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成23年度</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>事業開催数(延)</td> <td>543件</td> <td>511件</td> <td>194件</td> </tr> <tr> <td>参加人数(延)</td> <td>13,937人</td> <td>13,849人</td> <td>7,368人</td> </tr> </table>		平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業開催数(延)	543件	511件	194件	参加人数(延)	13,937人	13,849人	7,368人	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度										
事業開催数(延)	543件	511件	194件										
参加人数(延)	13,937人	13,849人	7,368人										
【今後の課題・方向性】													
今後、過疎化・人口減少がさらに進む社会においては、人とのつながりがより重要なものとなるため、各地区公民館がそれぞれの事業の目的に合わせて、地域の人が集い、学び合い、交流し合う機会を充実させる。													

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	880%	750%	628%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	各事業に明確な目標が設定されている
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	前年度に比べ事業件数減少したが、参加人数は増加したため
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各公民館・関係各課との連絡・連携体制のさらなる充実
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各事業の実施に当たり、対象が適したものとなっている

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も、各地区公民館で積極的に生涯学習事業を計画し取り組んでもらい、地域の生涯学習の拠点、地域活性化の拠点として充実を図りたい。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000844	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	公民館祭開催事業		所属名	企画推進部 協働推進課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	昭和57年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	その他
	高徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	公民館祭開催費(協働推進課)		予算事業コード	01-09-04-06-19-01	
		市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市内61地区公民館及び1分館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や練習を重ねた様々な分野の芸能などについて、1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取市公民館連合会が主体となって事業の企画実施を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。)</li> <li>■芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)</li> </ul>	同左	同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。)</li> <li>■芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■作品展示会(61地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。)</li> <li>■芸能発表会(61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。)</li> </ul>	
	年度別実績	参加者 1627人	参加者 1388人	参加者 1456人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	575	575	575	0	575	
	直接経費 A	575	575	575	0	575	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	575	575	575	0	575
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	開催期間中の入場者	人	目標	1586	1632	1400	1400	1400
		実績		1627	1388	1456	0	0	
	(指標の説明) 開催期間中の入場者数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地区公民館係 0857-20-3172</p> <p>【9次総合の施策体系】 2102</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1. 委託先 鳥取市公民館まつり実行委員会（事務局：鳥取市公民館連合会）</p> <p>2. 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品展示会（地区公民館で1年間に創作した作品を展示する。）</li> <li>・ 芸能発表会（地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。）</li> <li>・ 特産品の販売等</li> </ul> <p>【事業の成果】</p> <p>地区公民館で活動している市民が丹精込めて制作した作品の数々や、練習を重ねた様々な分野の芸能を来訪者に観賞してもらうことで、公民館活動について理解を深めてもらうとともに、出品者の創作意欲、発表者の練習意欲をいっそう向上させ、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図った。</p> <p>○平成25年度実績 作品展出展数：2,369点 芸能発表会出演者数：229人</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>地区公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として、毎年度実施する。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	開催期間中の入場者	103%	85%	104%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p><b>目的の妥当性</b></p> <p><small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small></p>	<p>■ 1. 妥当である</p> <p>□ 2. ほぼ妥当である</p> <p>□ 3. あまり妥当ではない</p> <p>□ 4. 妥当ではない</p>	地区公民館活動の成果について市民に対し発表する場を年1回設定するものであり、今後の公民館活動の活性化や発展を図ることができる。
<p><b>事業の有効性</b></p> <p><small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small></p>	<p>■ 1. 有効である</p> <p>□ 2. やや有効である</p> <p>□ 3. あまり有効でない</p> <p>□ 4. 有効でない</p>	幅広く市民へ公民館活動に対する周知と理解を得ることができるとともに、他地区の活動を知ることにより自らの公民館活動の参考にし、今後の発展が期待できる。
<p><b>資源投入の効率性</b></p> <p><small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small></p>	<p>■ 1. 効率的である</p> <p>□ 2. やや効率的である</p> <p>□ 3. あまり効率的ではない</p> <p>□ 4. 効率的ではない</p>	地区公民館職員で構成する鳥取市公民館連合会に委託して実施しており、職員自ら創意工夫しながら企画運営実施することで、職員の公民館活動に対する認識や資質の向上が図られる。
<p><b>サービスの公平性</b></p> <p><small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small></p>	<p>■ 1. 公平である</p> <p>□ 2. やや公平である</p> <p>□ 3. あまり公平ではない</p> <p>□ 4. 公平ではない</p>	市民の参加は、無料で自由にできるものであり、公平に行われている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p>□ 1. 拡充</p> <p>□ 2. 改善継続</p> <p>■ 3. 現状維持</p> <p>□ 4. 縮小</p> <p>□ 5. 休止、廃止、終了</p>	<p>□ 1-1 意図的に拡充</p> <p>□ 1-2 制度的に自然増加</p> <p>□ 2-1 手段等の改善</p> <p>□ 2-2 効率化、簡素化</p> <p>□ 2-3 他事業との統合</p>	<p>□ 4-1 意図的に縮小</p> <p>□ 4-2 制度的に自然減少</p> <p>□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p>□ 5-2 意図的に廃止</p> <p>□ 5-3 制度的に終了</p>
	担当課長の評価コメント	地区公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として、毎年度実施する。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000820	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民大学等開催事業(高齢者生きがい促進)		所属名	教育委員会事務局 生涯学習課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	高齢者生きがい促進総合事業費			予算事業コード	01-09-04-01-15-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	
	年度別実績	尚徳大学 講座開催回数102回 延参加人数6,294人 高齢者人材活用事業 事業回数 3回 延参加者数80人	尚徳大学 講座開催回数102回 延参加人数6,186人 高齢者人材活用事業 事業回数 2回 延参加者数 165人	尚徳大学 講座開催回数102回 延参加人数6,765人 高齢者人材活用事業 事業回数 4回 延参加者数 218人			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,920	6,014	5,941	0	1,750	
	直接経費 A	1,422	1,558	1,570	0	1,750	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	520	532	590	0	550
	一般財源	902	1,026	980	0	1,200	
人件費 B	4,498	4,456	4,371	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	尚徳大学受講者の満足度	%	目標	0	0	0	85	90
				実績	79	79	76	0	0
	(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【9次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>当初予算・P283(教053)</p>																				
	<p>【事業の概要】</p> <p>1. 尚徳大学</p> <p>昭和48年度から高齢者教室として健康、家庭、社会、余暇を考えるを4本の柱に定め事業をスタートした。その後、事業の内容を見直し定員規模の拡大を図り、名称も尚徳大学と改め、高齢者の総合的な学習活動の機会場として開設している。</p> <p>現在は、合同学習(共通)及び7つの専門コース(社会・書道・絵画・民芸・健康・郷土・彫刻)で学習を行っている。</p> <p>2. 高齢者人材活用事業</p> <p>優れた知識、技能を有する高齢者を募り、講師あるいは助言者として、各地域で開催される講演会等に参加・派遣を行う。</p>																				
	<p>【事業の成果】</p> <p>1. 尚徳大学</p> <table border="0"> <tr> <td>・講座開催回数</td> <td>102回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・延べ出席者数</td> <td></td> <td>平成23年 6,294人</td> <td>平成24年度 6,186人</td> <td>平成25年度 6,765人</td> </tr> </table> <p>2. 高齢者人材活用事業</p> <table border="0"> <tr> <td>・登録者数</td> <td>55人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・講演会等延べ参加者数</td> <td></td> <td>平成23年度 80人</td> <td>平成24年度 165人</td> <td>平成25年度 218人</td> </tr> </table>	・講座開催回数	102回				・延べ出席者数		平成23年 6,294人	平成24年度 6,186人	平成25年度 6,765人	・登録者数	55人				・講演会等延べ参加者数		平成23年度 80人	平成24年度 165人	平成25年度 218人
	・講座開催回数	102回																			
・延べ出席者数		平成23年 6,294人	平成24年度 6,186人	平成25年度 6,765人																	
・登録者数	55人																				
・講演会等延べ参加者数		平成23年度 80人	平成24年度 165人	平成25年度 218人																	
<p>【今後の課題・方向性】</p> <p>高齢者層の増加に伴って本事業の役割も増大していくと考えられる。尚徳大学は、多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づくりを今後検討していく。高齢者人材活用事業は、運営手法の見直しや広報の強化により更なる事業の活性化を図る。</p>																					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	尚徳大学受講者の満足度					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p><small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない</p>	<p>ますます増加し大きな社会的役割を担っていく高齢者を対象とし、その学習ニーズに対応した学習機会の提供を行なっていくものとして妥当である。</p>
<p>事業の有効性</p> <p><small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 有効でない</p>	<p>定員を超える多数の受講応募と、高い事業出席率により、学習機会を効果的に提供している。</p>
<p>資源投入の効率性</p> <p><small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない</p>	<p>参加者との協同による事業運営を行なって効率化を図り、少ないコストで多くの市民の学習ニーズに応えている。</p>
<p>サービスの公平性</p> <p><small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small></p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 公平ではない</p>	<p>学習を希望する方すべてを受け入れ、学習機会を提供している。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 1. 拡充</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了</p>	<p><input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化</p> <p><input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合</p>	<p><input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少</p> <p><input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了</p>
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<p>高齢者の学習ニーズは年々増加し、また多様化している。それらニーズを的確に捉えて応え、地域社会を支える高齢者の豊かな生活形成に寄与する。また、事業運営手法を見直して効率的な運営を進める。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000821	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民大学等開催事業(市民大学)		所属名	教育委員会事務局 生涯学習課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	市民大学開設費		予算事業コード	01-09-04-01-16-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 市民大学の開催	平成24年度 市民大学の開催	平成25年度 市民大学の開催	平成26年度 市民大学の開催	平成27年度 市民大学の開催	
	年度別実績	市民大学 講座開催数28回 延参加者数558人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数752人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数726人			
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	2,558	2,455	2,447	0	400	
	直接経費 A	309	227	261	0	400	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	309	227	261	0	400
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	市民大学受講者の満足度	単位	%	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績	0	0	92.6	85	90						
	(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【9次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】当初予算</p> <p>【事業の概要】</p> <p>昭和26年に一般市民を対象に成人学級を夜間に開設する。昭和47年度には鳥取市民教養講座として1科目50人定員で学級をもった。昭和48年度には明るい家庭、住みよい街づくりの推進を図り会場を福祉文化会館としてその内容も更に拡大し、1科目30人、学習時間10時間の講座となった。</p> <p>昭和57年から市民大学講座と改称し、郷土の歴史などを中心に昼と夜に分けて学習することになった。現在は鳥取地域及び合併地域に在住、または勤務する成人を対象とし、一般的な教養、地域に伝わる歴史、専門的な知識の学習を行っている。</p>
	<p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰海岸ジオパーク講座 年5回(前期)</li> <li>・国際理解講座 年6回(前期)</li> <li>・市民健康講座 年5回(前期)</li> <li>・郷土の歴史講座 年5回(後期)</li> <li>・とっとり緑化フェア学習講座 年3回(後期)</li> <li>・社会講座 年6回(後期)</li> </ul> <p style="text-align: right;">平成23年度      平成24年度      平成25年度</p> <p>参加者数(延)      558人              752人              726人</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>参加者が定員を下回っていること、そして、60歳以上の年齢層の出席が多数を占めることから、より幅広い世代の参加者を増やすため、チラシ・ポスター等の広報を強化する。高齢者生きがい促進事業と重複しない内容、または重層的な内容など他の事業と内容調整を図り事業を実施する。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	市民大学受講者の満足度					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない</p>	市民が学習できる機会を設けるという意味で市が主導となって遂行する必要があるため
<p>事業の有効性</p> <p>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや有効である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 有効でない</p>	市民の学習意欲は高く、それに応える機会が提供できている。
<p>資源投入の効率性</p> <p>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 2. やや効率的である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない</p>	限られた中の予算でも多様な講師講演・資料等を用意し、受講生も講座に満足している
<p>サービスの公平性</p> <p>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 公平である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である</p> <p><input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 公平ではない</p>	60歳以上の参加者が多数を占め、参加者の年齢層に偏りがあることから、より幅広い年齢層の方の参加が望まれる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 1. 拡充</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 現状維持</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了</p>	<p><input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善</p> <p><input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化</p> <p><input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合</p>	<p><input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小</p> <p><input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少</p> <p><input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了</p>
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<p>生涯学習センターを学習の拠点として、今までの学習形態をもとに勤労成人層を対象にした。今後はさらに学習ニーズの把握に努め、学習内容について検討していく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000853	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	図書館情報管理システム処理事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	高徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	図書館情報管理システム処理費		予算事業コード	01-09-04-09-06-01	
		市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	図書館3館及び中央公民館図書室6室の利用者情報、所蔵資料に関する情報、予約・貸出状況等の管理
意図 (どのような状態にするために)	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。
手段 (どうするのか)	平成24年度に更新した図書館情報管理システムを適正に運用し、利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者自身がインターネットから本の予約、予約状況の確認、貸出の延長などを行えるようにするとともに、予約した本が正確・迅速に利用者に貸出せるようにする。また、本の自動貸出機、自動返却機の運用により、利用者の利便性の向上を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	H24年度11月の全面改修に向けて、システムの検証と構築を検討する。	新システムを導入して、利用の拡充拡大を図る。	新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	
	年度別実績	H24年度2月の全面改修に向けて、システムの検証と構築を検討する。公募型プロポーザル方式により調達することとする。	公募型プロポーザル方式により新システムを構築し、経費を抑えながらより高性能のシステムに更新し、利便性の強化を図った。	新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図った。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,509	13,607	31,732	0	28,267	
	直接経費 A	8,760	9,894	28,089	0	28,267	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,760	9,894	28,089	0	28,267
人件費 B	3,749	3,713	3,643	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	セルフ利用率の拡大	%	目標	0	0	40	46	47
				実績	0	0	45	0	0
	(指標の説明) 情報管理システム処理件数(貸出返却セルフ利用冊数/総貸出返却処理冊数)								
2	個人貸出冊数	冊	目標	0	0	900000	910000	920000	
			実績	0	0	899132	0	0	
(指標の説明) 図書館情報管理システムによる本の個人貸出冊数									
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P304(教096)</p> <p>【事業の概要】 平成18年度に9館の図書館電算システムを統合したが、機器類の老朽化やソフト保守対象期間外となる24年度に、プロポーザル方式により業者選定を行いシステムを更新した。平成25年度から新システムを運用。</p> <p>【事業の成果】 図書館3館及び中央公民館図書室6室を新図書館システムで運用することにより、迅速で多彩な図書館サービスの提供を行うことができた。 主な機能としては、資料管理、利用者管理、貸出管理、予約管理、搬送管理、発注管理、Web管理などが一元化されている。 ①市民の図書館利用の利便性向上(一元管理) ②図書、利用者、貸出管理及び図書購入整備の効率性向上 ③地域間格差の是正 ④利用者によるインターネットでの検索、予約受付、貸出延長などのサービス提供 (25年度実績) 蔵書冊数 614,625冊      利用者登録数 56,731人 個人貸出 899,132冊      団体貸出 123,080冊 予約受付 134,620件</p> <p>【今後の課題、方向性】 システム更新により、一層の利便性の向上や効率化を図ることで時間を創出し、相談業務、案内業務など利用者とのコミュニケーションの強化を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	セルフ利用率の拡大			113%		
	2	個人貸出冊数			100%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	図書館の管理運営及びシステム運用は、公平な資料整備や資料提供に加え、多くの個人情報扱うため設置する市が直接運用することが望まれる。また、サービス改善に伴うシステム修正も効率よく実施できる。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	図書館システムは、現代の図書館の管理運営に際して欠かせないものであり、資料管理、利用者管理等大いに効率化が図られているため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	資料の登録管理、利用者の管理、貸出等の利用管理などにおいて大いに効率化が図られており、費用対効果は高い。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	搬送のサービス網により、資料を届ける仕組みがあるため、どの図書館、図書室からでも同様のサービスを受けることができ、地域間格差の解消につながるシステムである。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> 平成24年度にプロポーザル方式により更新したシステムにより多くの改善を図った。平成25年度はシステムを効率的に運用し、利用者にも職員にも利便性の高いサービスが提供できた実感した。今後も、毎年進化するシステムを活用し、利用者の更なる利便性の強化を図るとともに、機械化できるところは機械化を図り、マンパワーは、レファレンスサービス(調べものお手伝い)等必要な部分に傾注していきたい。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000852	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域社会教育活動総合事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	地域社会教育活動総合事業費			予算事業コード	01-09-04-09-05-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態にするために)	本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために、必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、「お話し会」等の事業の実施をするとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。 また、地元大学等と連携を図り、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。	平成24年度 お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。	平成25年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を新たに実施するとともに中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	平成26年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	平成27年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>視聴覚支援資料整備</li> <li>ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>視聴覚支援資料整備</li> <li>ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>その他講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った</li> </ul>			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	21,134	22,150	21,199	895	877	
	直接経費 A	1,013	1,595	839	895	877	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,013	1,595	839	895	877
人件費 B	20,121	20,555	20,360	0	0		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		おはなし会、各種講座への参加者数	人	目標	0	0	4500	4550	4600	
			実績	0	0	4866	0	0		
	(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数									
	2	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標	0	0	50	69	70	
		実績	0	0	68	0	0			
(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)										
3	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										



5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P304(教095)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①各図書館で毎週定期的に「おはなし会」を実施          ②絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座を実施          ③保健センターが行なうブックスタート事業に協力          ④鳥取大学等と連携しての一般向け講座の実施          ⑤とっとり市報への移動図書館車巡回日程の折込(年1回)          ⑥気高図書館開館10周年記念事業 など実施</p> <p>【事業の成果】</p> <p>①おはなし会等 135回開催 延べ2,626人参加          ②読み聞かせ等ボランティア養成講座 17回開催 延べ497人参加          ③その他音読教室、ブックスタート支援など 21回開催 延べ609人参加          ④用瀬図書館での事業 56回開催 延べ510人参加          ⑤気高図書館での事業 50回開催 延べ500人参加          ⑥気高図書館開館10周年記念事業 1回 124人参加</p> <p>【今後の課題、方向性】</p> <p>図書館だけではなく家庭・地域とさらに連携し、市民に豊かな読書環境を提供する必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	おはなし会、各種講座への参加者数			108%		
	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率			136%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か            ・対象と意図は現行でよいか            ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもの読書活動の推進を図るとともに、幼児から高齢者まで知識や教養の修得、地域文化の発展にも寄与している。市民の社会参画や自己実現を図る生涯学習施設として大いに利用されている。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか            ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実績として、目標としていた参加人数を上回っているとともに、事業後のアンケートでも満足度が高いため。また、読み聞かせボランティア受講者が実践に結びついているため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か            ・高い費用対効果が得られているか            ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現代的な課題も考慮しながら各種講座、講演会などを開催しており、ボランティアによる「おはなし会」の実施や、地域で活躍する講師を招聘した講座を開催した。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か            ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	中央図書館をはじめ、用瀬、気高図書館においても講座、講演会、おはなし会等を実施している。子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を展開している。広報についても、とっとり市報をはじめケーブルテレビなども活用し広く取り組んでいる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>豊かな市民生活を送るためには、さまざまな知識や情報を容易に入手し、課題を自ら判断し、生涯にわたって学んでいくことが必要である。図書館は、市民のニーズをとらえながら、様々なテーマで学習の機会を提供していく必要がある。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000854	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	図書購入事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度～ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
	施策	2102	生涯学習の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	図書購入費		予算事業コード	01-09-04-09-08-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の利用に供するための図書館の蔵書
意図 (どのような状態にするために)	自らが生涯にわたって学び、自己実現を図るとともに、さまざまな課題についても自ら判断できるよう、さまざまな知識や情報を身近な拠点で容易に入手できるようにする。
手段 (どうするのか)	一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により図書館3館と中央公民館図書室6室でバランスのとれた蔵書構成を図り、限られた財源を有効に活用する。また、市民のリクエストや現代的な課題に関する資料の充実に努める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	
	年度別実績	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。 21,587冊購入	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証した。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	40,846	41,489	39,508	0	37,586	
	直接経費 A	38,597	39,261	37,322	0	37,586	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	38,597	39,261	37,322	0	37,586
人件費 B	2,249	2,228	2,186	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	1	新規購入図書年間貸出回数	回	目標	0	0	5	5.1	5.2	
				実績	0	0	9.6	0	0	
	(指標の説明) 新規購入図書貸出回数(年度内新規購入図書貸出累計÷新規購入図書冊数×2)									
	2				目標	0	0	0	0	0
実績					0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3					目標	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【事業の概要】</p> <p>① 図書の整備は、年間の新規整備冊数(新鮮度)が重要</p> <p>② 9次総でのサービス目標 魅力ある図書の整備 平成25年度 新規購入図書の貸出回数(目標回転数5.0回)</p> <p>③ 全館で年間20,732冊整備</p> <p>【事業の成果】</p> <p>① 新鮮で魅力のある図書の提供することができた。 25年度末蔵書冊数 614,152冊</p> <p>② 生涯学習施設として多くの市民に利用されている。</p> <p>③ ニーズや社会情勢をとらえながら選書を行ったことにより、新規購入図書の貸出回数が目標を大きく上回った。</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>① 市民が自ら考え、自ら行動するために必要な知識や情報を提供するには、市民ニーズをたらし、多様な考え方や新しい情報を豊富に整備する必要がある。</p> <p>② 県立図書館や他の機関とも連携を図るとともに、電子情報や電子図書館の活用も検討する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	新規購入図書年間貸出回数			192%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>目的の妥当性</p> <p><small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small></p>	<p>■ 1. 妥当である</p> <p>□ 2. ほぼ妥当である</p> <p>□ 3. あまり妥当ではない</p> <p>□ 4. 妥当ではない</p>	<p>豊かな市民生活を送るためには、様々な知識や情報を容易に入手することが必要である。市民が生涯にわたって学ぶためには、だれもが無料で利用できる公共図書館の維持継続が重要である。</p>
<p>事業の有効性</p> <p><small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small></p>	<p>■ 1. 有効である</p> <p>□ 2. やや有効である</p> <p>□ 3. あまり有効でない</p> <p>□ 4. 有効でない</p>	<p>新規購入した資料は、当初の目標を大幅に超え、年間平均9.6回転の利用であった。9.6回転は、全体の図書の平均回転数1.5回転の6.4倍にあたり、市民のニーズに沿った新規購入が概ね図られた。</p>
<p>資源投入の効率性</p> <p><small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small></p>	<p>■ 1. 効率的である</p> <p>□ 2. やや効率的である</p> <p>□ 3. あまり効率的ではない</p> <p>□ 4. 効率的ではない</p>	<p>各館の所蔵状況や発注状況がわかるため、必要に応じて相互利用を図っている。搬送システムにより身近な拠点まで資料が届くようにしている。</p>
<p>サービスの公平性</p> <p><small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small></p>	<p>■ 1. 公平である</p> <p>□ 2. やや公平である</p> <p>□ 3. あまり公平ではない</p> <p>□ 4. 公平ではない</p>	<p>図書館3館、中央公民館図書室6室及び移動図書館車5台を中心に、学校等とも連携を取りながら広範囲にサービスを展開している。また、土日の開館や祝日開館にも努め、多くの市民が公平に利用できるよう運営している。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<p>■ 1. 拡充</p> <p>□ 2. 改善継続</p> <p>□ 3. 現状維持</p> <p>□ 4. 縮小</p> <p>□ 5. 休止、廃止、終了</p>	<p>■ 1-1 意図的に拡充</p> <p>□ 1-2 制度的に自然増加</p> <p>□ 2-1 手段等の改善</p> <p>□ 2-2 効率化、簡素化</p> <p>□ 2-3 他事業との統合</p>	<p>□ 4-1 意図的に縮小</p> <p>□ 4-2 制度的に自然減少</p> <p>□ 5-1 臨年実施等、意図的に休止</p> <p>□ 5-2 意図的に廃止</p> <p>□ 5-3 制度的に終了</p>
	<p>担当課長の評価コメント</p>	<p>平成25年度は、予算が5%減額となったが、高額資料や利用頻度が少ないと想定されるリクエストについては、県立図書館へ整備を依頼し、相互貸借を活用して提供した。今後も、図書館同士の連携を活かしたい。さらに、図書に加え電子情報の利用も想定されるため、無料で利用できるデータベースなどは積極的に利用、提供を行いたい。</p>	